

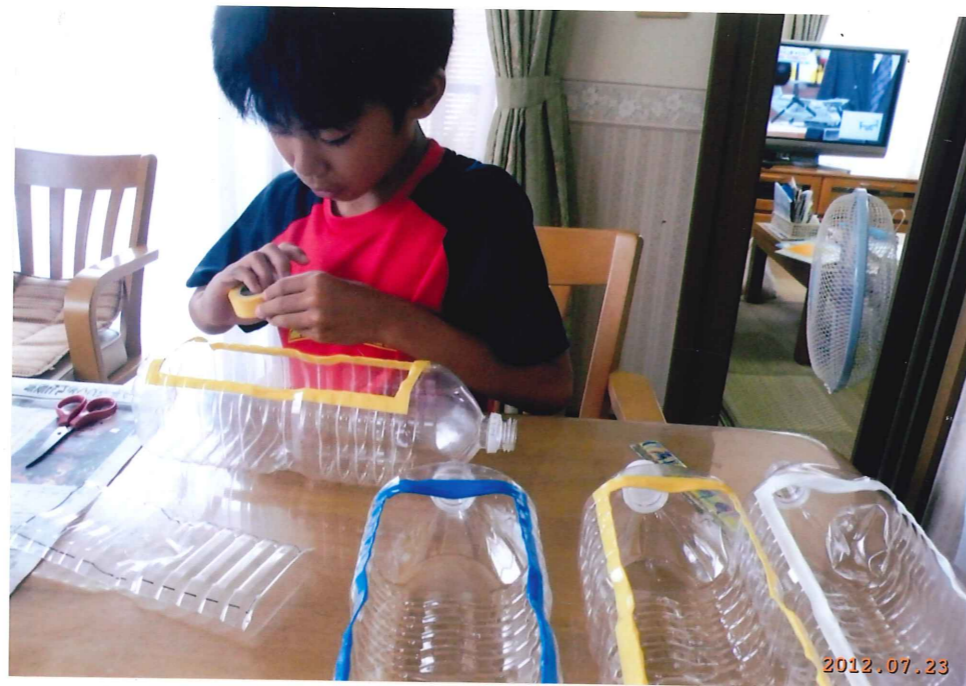
メダカのたまごを 育てよう



前にメダカを育てたときは
たまごを産まなかったので、
理科の授業で習ったことを生かして
自分で育てて観察してみようと思います

5年3組
菅野大輝

準備 7月23日



なぜ水そうじゃなくてペット
ボトルにしたかというと学校の
理科の授業でメダカをかうとき
ペットボトルで育てたからです。
水そうを洗うときは、せっけん
などを使わず水だけで洗いま
した。



↑
準備物

ペットボトル(20)
黒玉土
水温計
カッター
テープ
水草(アナカス)

黒玉土と水草はホームセンターで
買いました。

水そうの立ち上げ

7月24日



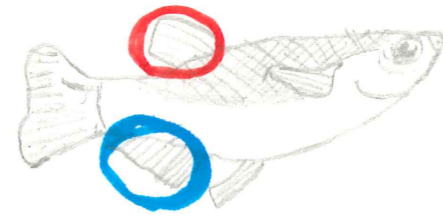
①黒玉土をペットボトルの
底に1~2cm置く。

②水草を少しづつ入れる。

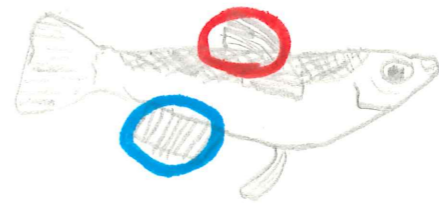
③水は深さ5~6cmになる
ように入れる。

④カルキがぬけるまで1日そ
のまま置く。

水そうは日光の当たらない
明るい場所に置くのが良いのでまど
ぎわに置きました。



メス



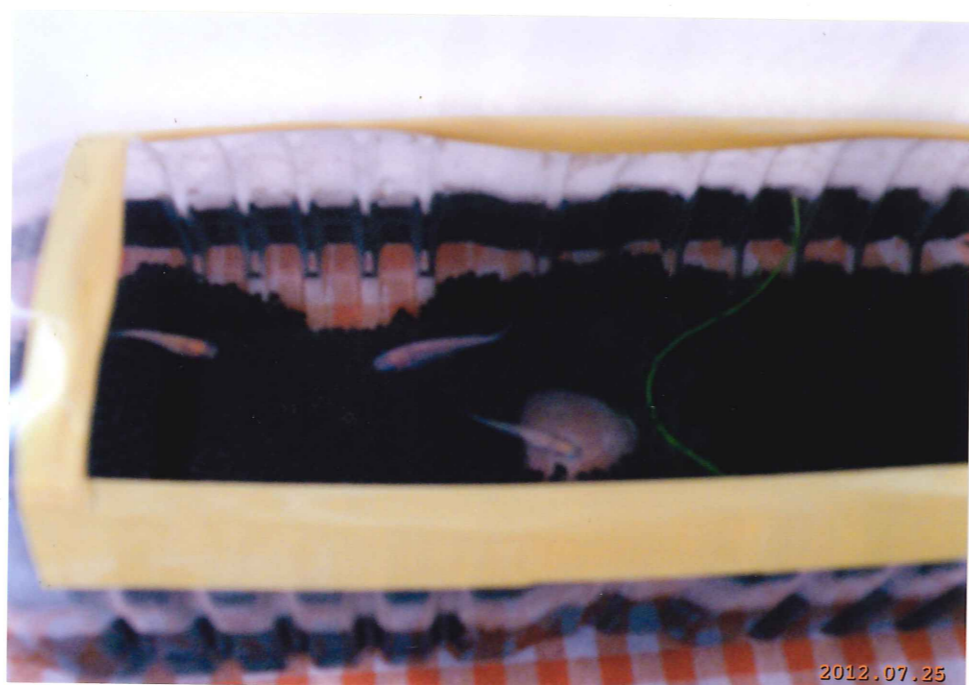
オス

- 背びれ...オスには切れこみがある。
メスには切れこみがない。
- 尻びれ...オスは尻びれの幅が広い。
メスは尻びれの幅が狭い。

7月 25日



オス 2匹 メス 2匹

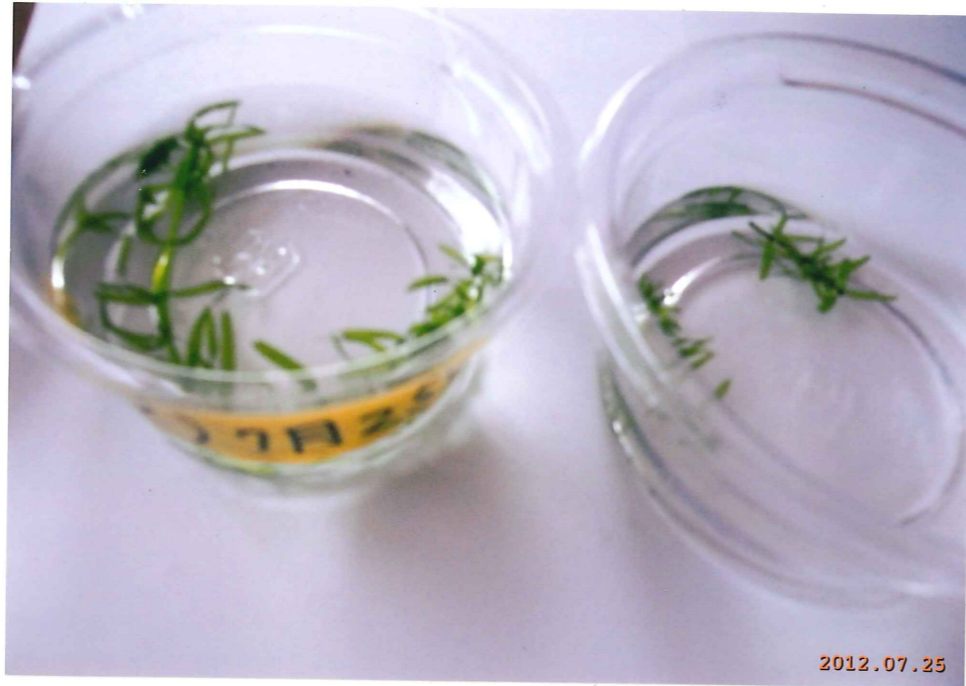


オス 1匹 メス 2匹



水草にたまごがついていたので、
別の容器に取っています。
たまごを全部さがすのもたいへんだし
ピンセットでとるのもたいへんで10分以上
かかりました。

7月25日



日付けごとに小さい容器に分けました。
取ったたまごをけん
び鏡で見ました。
たまご2つくっついて
いて、まわりにたくさん
毛がはえていました。
小さいゆてきが2つ見えて
いました。

7月26日

朝みると白メダカに10個くらいつ
いていて楽しみにしていたけど
10時ごろ水草についたかかんに
んしてみると1個だけ水草につい
ていてその他は、食べられていて
とてもショックでした。



ゆてきとメダカの
体の形がうすう
みえていた

2日目

たまごが食べられないようにするため
にどうしたらよいか考えました。
明日は食べられないようにオス
とメスを分けてみようと思います。
す。

7月27日

5:30 AM たまごを発見

たまごのついた白メダカのみすとヒメダカのみす
を別の容器に入れる

7:00 28℃ 別の容器にのみすだけ入れる

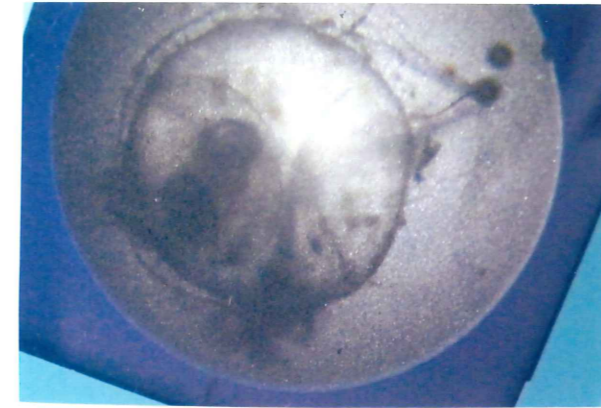
10:00 たまごが水草についたのど
もとのペットボトル水そうに返す。

たまごの数 白メダカ 13コ

ヒメダカ 5コ

たまごのついたのみすだけ別の容
器に入れるとたまごを食べられ
る心配がなかったため、明日もや
ってみようと思います。

7/28



目がくっきり見え
ていた。

体の形もだいた
い見えてきた。

3日目

7:30 AM 白メダかたまご発見

とてもたくさんついていた

9:00 AM 水そうをのぞくとたまごは

食べられてしまっていた。

えさやり9:00

いつもは7時くらいにえさをあげていて

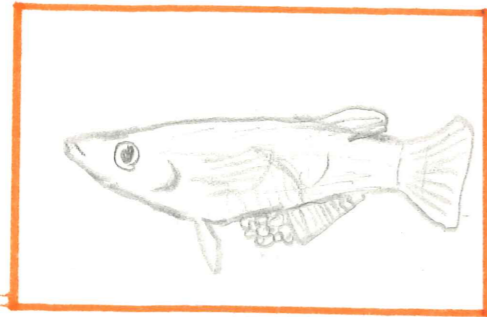
今日は時間がおそかったためおな

かがすいてたまごを食べってしまったのかも

7月31日

ヒメダカの水そうの下の方にたまごを発見しました。

34コでした。かたまりでたくさんありました。他の水そうはたまごをうんていませんでした。



ほぼ毎日たまごは朝うんていする。

たまごが白っぽくなって死んでしまっているのがありました。

とても暑い日が続いて30℃くらいになってしまったので水温高かったのがおしれません。

明日元気なたまごをわけてみようと思います。

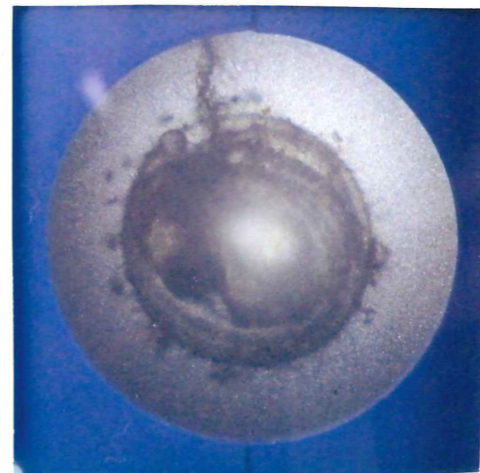
8月1日



今まで生まれたたまごの中で白くさってきているのが増えてきたので元気なたまごだけ残しました。

見つけたたまごが93コで元気なたまごが5%でした。

5日目



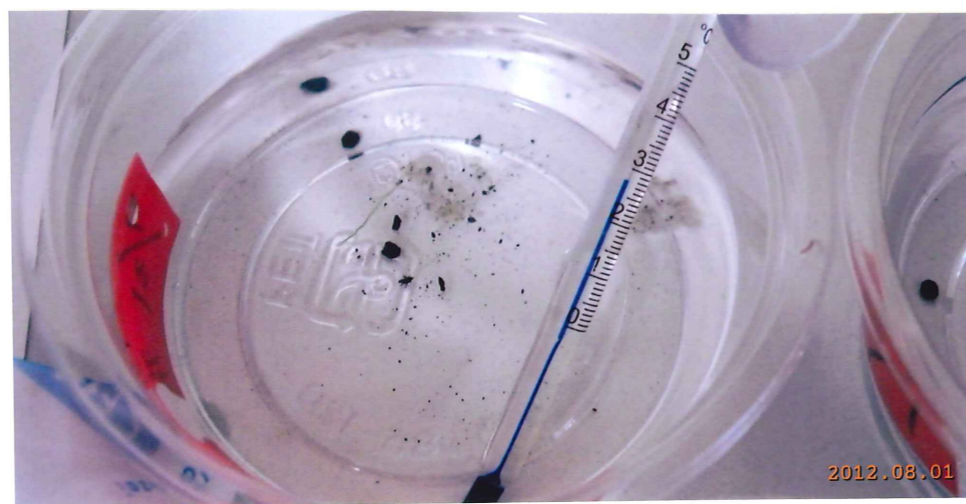
目がめだってきました。体の形も分かってきました。元気に生まれてほしいです。

8月1日



発見したたまご
を日付けを書い
てカップに分け
ています。

水温がとても高かったため保冷
剤で水温が25℃～27℃になるよ
うにくふうしてみました。
いつ生まれるか楽しみです。



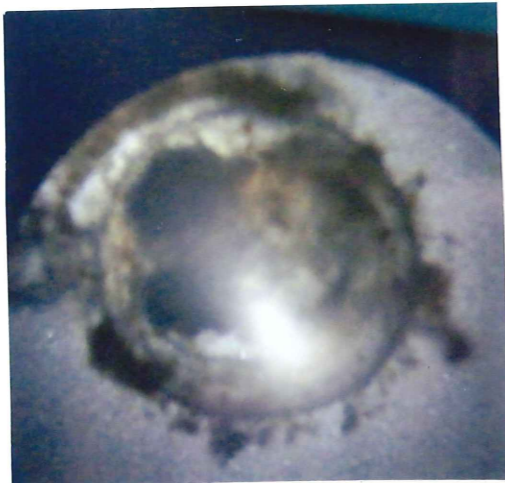
8月2日



朝7時ごろにたまごがっている
のでたまごを食べられないように
親メダカだけ別の容器にうつし
ました。

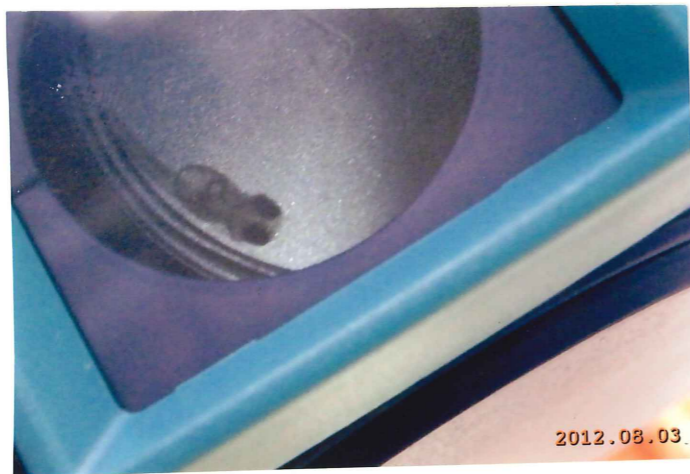
9時ごろには水草についています
たまごをとったら元にもどします。

8月3日



メダカがときどき動いていて今日中に生まれそうです。

	7/25	7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	合計
白	10	1	15		0	0	0	0	26
ヒ1		9			0	0	34	8	51
ヒ2	3		13	0	0	0	0	0	16
合計	13	10	28	0	0	0	34	8	83



上の写真の二時間後に生まれていましたうれしかったです。

8月7日

7月27日、8月1日、8月2日のたまごが8月7日に子メダカが合計15匹生まれました。

生まれてすぐの稚魚のお腹には栄養の袋がついていて2~3日は何も食べずあまり動かなくてカップの下の方でじっとしていました。

8月13日

8月13日までの合計で子メダカが31匹生まれました。

子メダカが増えてきたので小さい水そうに入れました。

エサはメダカのエサを紙にはさんでえん筆ですりつぶして小さくしてあげています。

とても元気に動いていてとてもかわいいです。

工夫したこと

- ・身近にあるもので準備しようと思ったのでペットボトルで水そうを作りました。
- ・親メダカの水そうの水は水道水より井戸水の方がよいと聞いたので井戸水を使った。
- ・たまごは水道水の方が病気にかかりにくいと分かったのでカッパのたまごには水道水を使いました。
- ・温度が高いときは保冷剤を使って温度を下げました。
- ・たまごのついている親メダカを別の容器に移して食べられないようにしました。
- ・水そうは直接日光の当たらない明るい場所に置きました。
- ・1つの水そうに3~4匹入れました。

うれしかったこと

- ・たまごがたくさん増えたことです。
- ・たまごが無事かえたことです。

気づいたこと

- ・メダカは朝方たまごを産んでいます。
- ・たまごがらいていない夕方~夜はおいかげをしているように見えました。
- ・水温は25度くらいが良いことが分かりました。
- ・たまごは2~3時間おなかについていてその後水草につけています。(だいたい6時にたまごを発見、9時すぎにははなれていきます)
- ・子メダカは2~3日はあまり動きません。

困ったこと

- ・オスのメダカがたまごを食べてしまうことです。
- ・夏なので室内にしていると温度がとっても高くなってしまいます。
- ・メダカが売っていなかったため祖母の知り合いにメダカをもらいました。
- ・ほしい水草がなかなか売っていなかったため注文しました。